

外部連携シート

生徒提出日 令和 年 月 日

| | | | | | |
|--|----------------------|--------|--|--|--|
| 研究班生徒氏名* | 代表生徒氏名に○をつける | | | | |
| 研究テーマ* | | | | | |
| 研究目的* | | | | | |
| これまでの取組・成果* | | | | | |
| 依頼内容* | | | | | |
| 訪問希望日時 提出日から2~3週 以降を設定 ※ここは担当教員と 相談して決める | 第1希望日時* 月 日() : ~ : | | | | |
| | 第2希望日時* 月 日() : ~ : | | | | |
| | 第3希望日時* 月 日() : ~ : | | | | |
| | その他条件等* | | | | |
| 第1希望 依頼先* | 名 称* | | | | |
| | 電話番号* | | | | |
| | メールアドレス | | | | |
| | 担 当 | | | | |
| 第2希望 依頼先* | 名 称* | | | | |
| | 電話番号* | | | | |
| | メールアドレス | | | | |
| | 担 当 | | | | |
| 担当教員氏名* | | 担当確認署名 | | | |

← ここの大枠内を依頼先に送ります。具体的に分かりやすく記載してください

生徒は上記二重線枠内を記入し、担当教員に持て行き、内容を確認してもらう。

| | |
|------------------------|---------|
| 連携先情報 外部連携担当が記入 | 名 称 |
| | 電話番号 |
| | メールアドレス |
| | 担 当 |
| | 対応可能日時 |

裏面に記入例があります。参考にすること。

外部連携シート（記入例）

生徒提出日 令和〇年〇月〇日

| | | |
|--|--|--------------|
| 研究班生徒氏名* | 代表生徒氏名に○をつける ○芝高 太郎、芝高 次郎、芝高 花子 | |
| 研究テーマ* | レタスに含まれるゴム成分の研究 | |
| 研究目的* | ゴムの木だけで無く、植物にはゴムを含んでいるものが多く存在する。 先行研究からレタスにもゴムが含まれていることが分かったが、その詳しい含有量等や構造などは分かっていないため、それらを明らかにする。 ※何を明らかにしたいのか。具体的に明確に記載する | |
| これまでの取組・成果* | レタスを150株採取し、その切断面からレタスの乳液を採取しました。 その乳液からゴムを抽出し、有機溶媒に浸した状態にしてあります。 ※これまでの取組や成果を具体的に記載する | |
| 依頼内容* | 依頼内容 ゴムの抽出はできたものの、この先どのような処理が必要なのか教えていただきたい。また、必要な試薬、操作などを教えていただきたい。 可能であれば測定機器等を使わせていただき、レタスのゴムの構造を明らかにするための測定をさせていただきたい。 ※どのような内容を依頼したいのか、具体的に明確に記載する | |
| 訪問希望日時 提出日から2~3週 以降を設定 ※ここは担当教員と 相談して決める | 第1希望日時 11月16日(木) 13:45 ~ 15:45 第2希望日時 12月7日(木) 13:45 ~ 15:45 第3希望日時 12月14日(木) 13:45 ~ 15:45 その他条件等 木曜5限以降で訪問可能、水・金放課後も訪問可能 | |
| 第1希望 依頼先* | 名称* ○○大学工学部 電話番号* 0250-○○-○○○○(工学部事務室) メールアドレス ○○○○@○○○○○○ 担当 新発田 ○○ | |
| 第2希望 依頼先* | 名称* △△大学理学部 電話番号* 025-○○○-○○○○(理学部事務局) メールアドレス 担当 | |
| 担当教員氏名* | 芝高 俊傑 | 担当確認署名 芝高 俊傑 |

生徒は上記二重線枠内を記入し、担当教員に持って行き、内容を確認してもらう。

| | |
|--------------------|---------|
| 連携先情報 外部連携担当が記入 | 名称 |
| | 電話番号 |
| | メールアドレス |
| | 担当 |
| | 対応可能日時 |

←ここ
の太枠内
を依頼先
に送ります。
具体的
に分
かり
やす
く記
載
して
く
だ
さ
い

別紙1

新潟県立新発田高等学校における「課題研究」の取組概要（令和6年度版）

新発田高校スーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）事業について

新発田高校は平成25年度（第Ⅰ期）、平成30年度（第Ⅱ期）と文科省の指定を受け、科学技術人材を育成するための探究型カリキュラムの開発に取り組んできました。令和5年度からは新たに第Ⅲ期の指定を受け、SSH事業の一層の推進に取り組んでいます。

これまで理数科が行ってきた諸取組を普通科にも広げ、課題研究の質を向上させるとともに、3年間一貫した課題研究を全校体制でさらに推進します。これらの取組を通じて、地域や世界で活躍する科学技術人材を育成します。

1 研究開発課題（令和5年度～令和9年度で取り組む課題）

課題研究の質の向上により、生涯にわたって活用できる科学的探究力の育成
～社会の諸課題に主体的・協働的に取り組み、地域・世界で活躍する「未来の俊傑」を育てる～

2 目的

生涯にわたって活用できる科学的探究力を身に付け、現代の諸課題を主体的・協働的に解決する人材を育成する。そのため、データや根拠に基づいて科学的に思考し、多様な視点で事象を捉え、主体的に行動できる力を育む探究型カリキュラムを研究開発する。

3 目標

課題研究を柱とした3年間のカリキュラムを設定し、課題研究に必要な手法・技能を段階的に身に付けることで、生涯にわたって活用できる科学的探究力を育成する。

【目標1】課題研究の質の向上による科学的探究力の育成

【目標2】グローバルなコミュニケーション力の育成

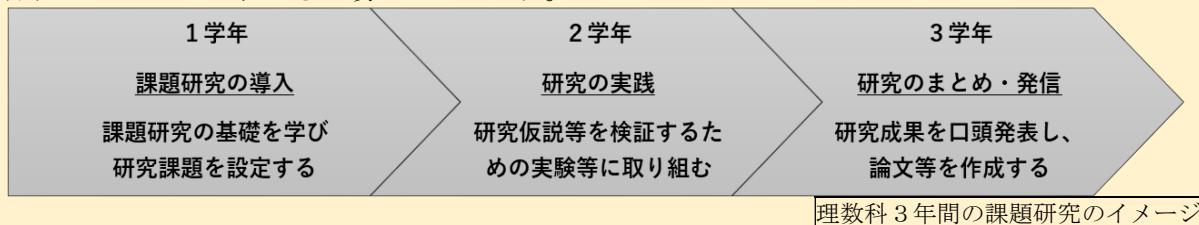
【目標3】現代の諸課題の解決に向け主体的・協働的に行動できる人材の育成

生徒の課題研究の取組について

新発田高校では生徒たちが自ら研究課題を設定し、それらを実験・観察・調査などで検証する研究活動（課題研究）に全校生徒が取り組んでいます。

1 理数科の課題研究の取組

理数科では1年時に設定した研究課題について3～4名で研究グループをつくり、主体的に研究に取り組んでいます。研究成果はポスターおよび論文の形式でまとめ、外部発表や各種コンテスト等にも応募しています。



2 普通科の課題研究の取組

普通科では1年時に地域に関する課題研究を実施しています。2年生になってからは研究課題を自分たちで設定し、3～4名で研究グループをつくり、主体的に研究に取り組んでいます。研究成果は論文の形式でまとめ、3年生では口頭発表を行います。

